

三宅島における地下水観測（2000年10月～2001年5月）*

Changes in water level, temperature and electric conductivity of groundwater in Miyakejima Island, Japan (Oct. 2000 - May 2001)

産業技術総合研究所地質調査総合センター**

産業技術総合研究所地質調査総合センター（NEDOフェロー）***

Geological Survey of Japan, AIST

Geological Survey of Japan, AIST (NEDO fellow)

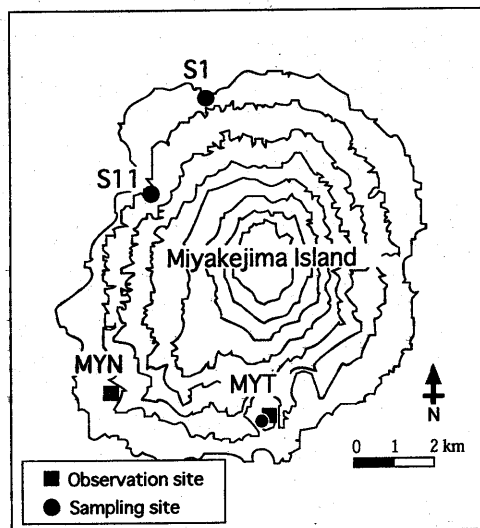
三宅島2000年噴火に伴い、産総研地質調査総合センターでは2000年10月からMYTおよびMYN（第1図）にて地下水観測を開始した¹⁾。また定期的に島内の数カ所で湧水等を採取し、温度、pH、電気伝導率を測定し、主要化学組成を分析している。地下水観測結果を第2図に、主要化学組成の分析結果（MYT、S1、S11；第1図）を第3図に示す。

地下水観測は、MYTでは大路池の北の棧橋から池内にセンサーを投入して行っている。MYNでは、水質悪化のために使用を中止している三宅村南風平第2水源井（深さ90m）にセンサーを投入した。観測項目は、水位・水温・電気伝導率（MYTのみ）・気圧・降水量である。MYTでは、センサ設置位置の水深が2m弱しかなかったためセンサー設置深度を水深1.2mとした。そのため、水温は気温の変化の影響を強く受けている。第2図では、どちらの観測点においても噴火活動に伴う顕著な変化は観測されていない。

第3図では、主要化学組成濃度をヘキサダイアグラムを用いて表示した。MYT、S1、S11のいずれのダイアグラムにも大きな時間変化はなく、図の期間中これらの場所では主要化学組成にほとんど変化は生じていないことを示している。

参 考 文 献

- 1) 佐藤努・高橋誠・松本則夫・中村太郎・安原正也・小泉尚嗣・金城竜典・野友卓・大川智子（2001）：三宅島2000年噴火—地下水観測編—，地質ニュース，561，6-14.

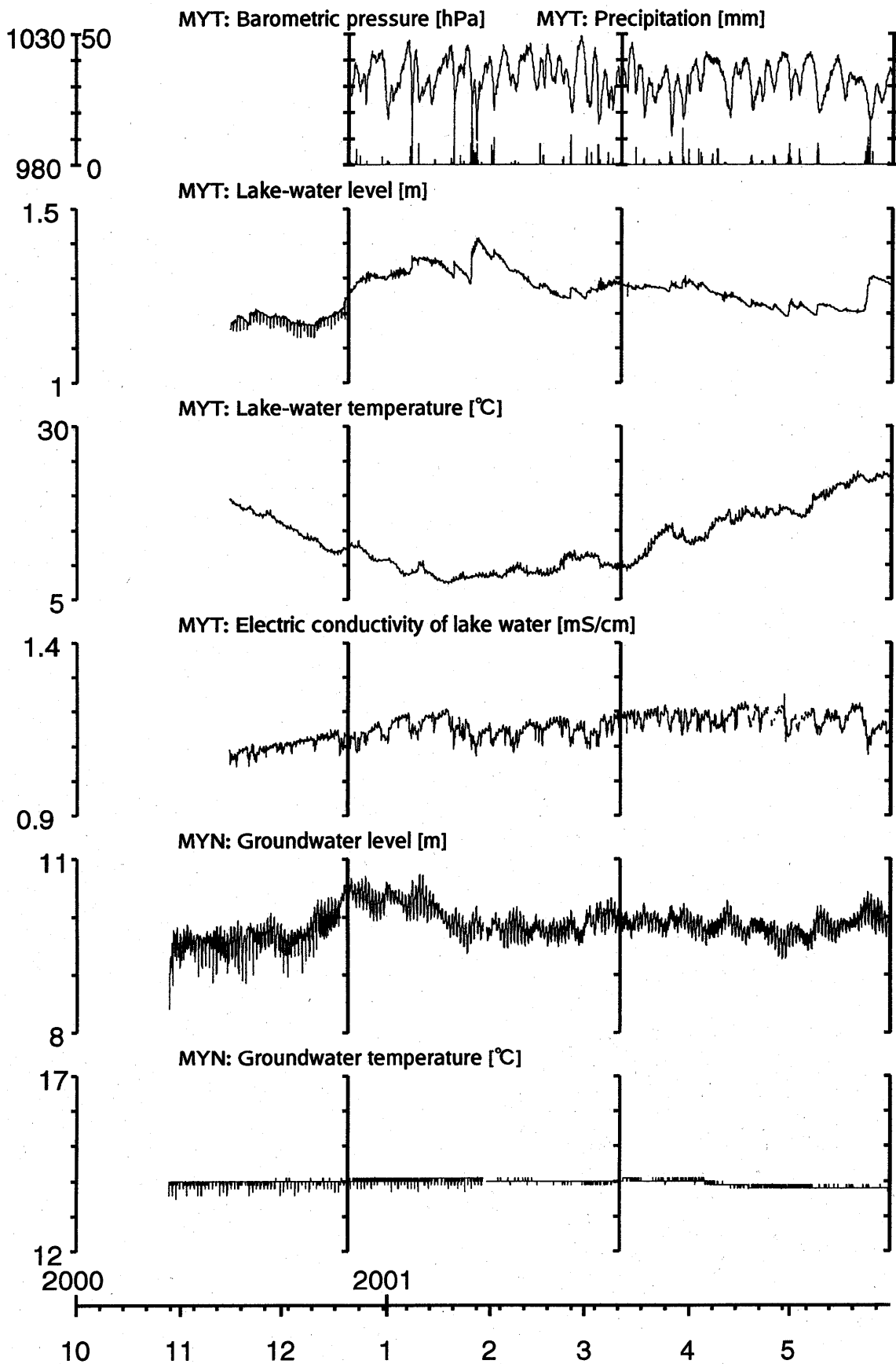


第1図 地下水観測と地下水採取地点の位置
Fig. 1 Location map of groundwater observation and sampling sites.

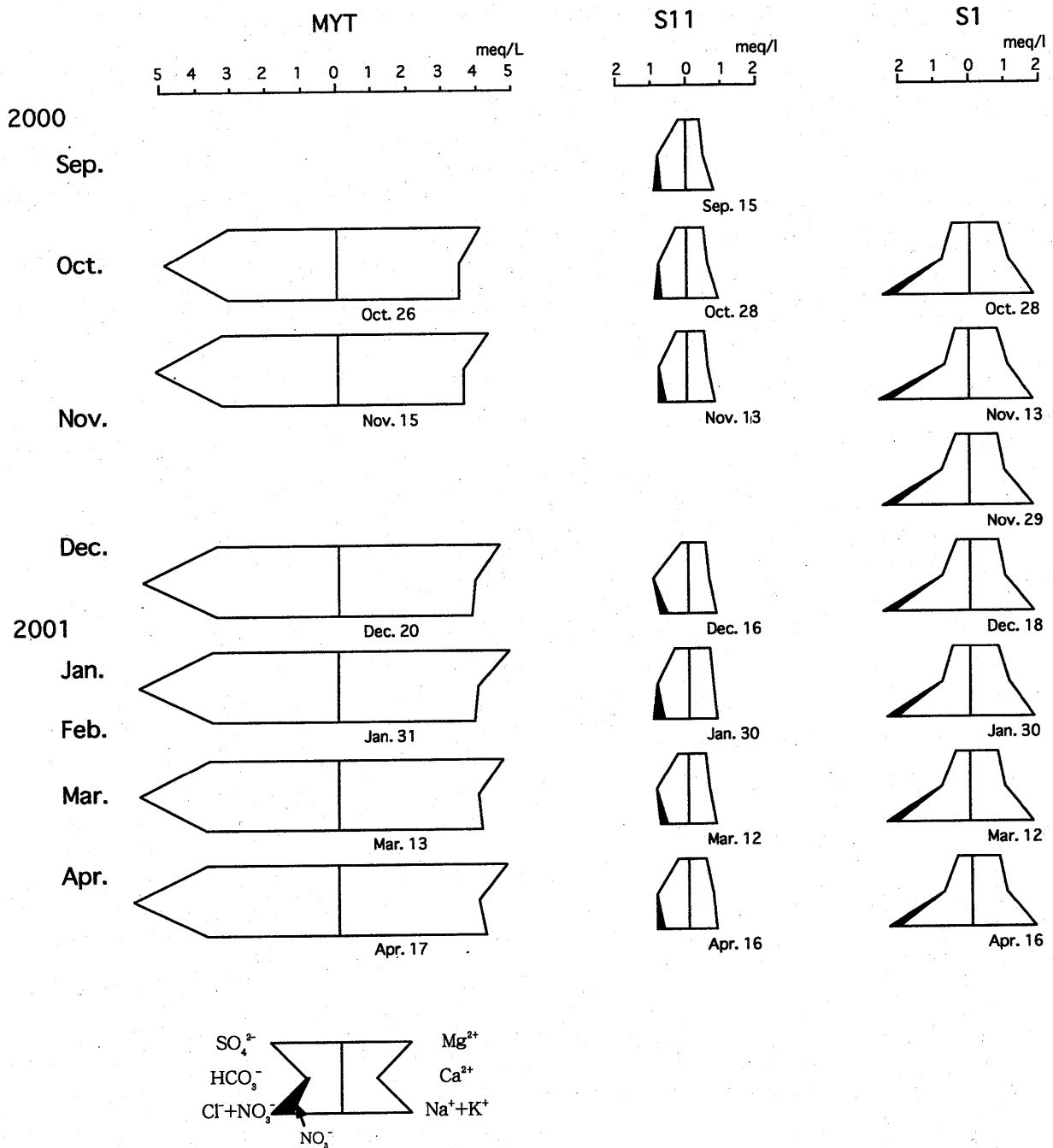
*Received 4 Sep., 2001

佐藤努**・高橋誠**・松本則夫**・中村太郎***

Tsutomu Sato, Makoto Takahashi, Norio Matsumoto and Taro Nakamura



第2図 MYTとMYNにおける観測結果
 Fig. 2 Observation results at MYT and MYN.



第3図 MYT、S1、S11の水質変化

Fig. 3 Changes in concentration of major ionic constituents of lake water at MYT and spring water at S1 and S11.